

能登半島地震食品支援

2024年12月16日、会員である認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンより、能登半島地震の被災者への食糧支援の要請があり、支援を実施しました。

今回の支援要請は多岐にわたる品目への対応が求められたため、全会員の皆様に支援を呼びかけさせていただき、多くの会員にご協力いただきました。

- 【要請団体】 認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン
- 【支援目的】 公的支援が終了した現状において、なお、避難生活を強いられている生活困窮者への支援、被災者の生活再建支援
- 【要請内容】 ごはん、麺、レトルト食品、缶詰等幅広い食品、各1,500食以上

【支援物資準備の様子】



▲荷受けの様子



▲仕分けの様子



▲倉庫内の様子



▲食品応援パッケージ



▲梱包の様子

【支援実績】(略称使用・五十音順)

支援いただいた会員：(株)ゼンショーホールディングス、東洋水産(株)、(株)南海グリル、(株)ニチレイフーズ、(株)ニッスイ、日本ハム(株)、(株)はくばく、明治ホールディングス(株)

調整いただいている会員：アサヒグループジャパン(株)

各品群について、合計20,000食以上の食品をご提供いただきました。

また、今般の支援要請を通じて多くの会員様に支援をご検討いただきました。

【事務局所感】

ご協力いただいた会員の皆様には改めて感謝申し上げます。

これまでの生団連の支援活動として、被災地に十分な物資提供に繋げることができていなかったことを鑑みますと、生団連の支援の輪は確実に拡大していることを実感しております。

今回の支援にあたり、皆様からいただいたご意見や課題を踏まえ、今後も被災地域への支援をより実行力のある形で行えるよう、支援スキームの構築に取り組んでまいります。